

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 水野賀績
 幹事 小山雅弘
 会報委員長 長門保明

No. 2

友達になろう BE A FRIEND

1994~95年度 RI会長 ゼル・H・ハンドレー

きょうの例会
第579回 平成6年7月19日(火)

友愛の日

先週の記録
第578回 平成6年7月12日(火)晴

◇ “奉仕の理想”

◇ ビジター紹介 8名

◇ 出席報告

会員	69名	出席	57名
出席率	82.61%		
前回	7月5日(修正出席率)	100%	

◇ ニコボックス

東京東村山RC 目時 俊一君 初めてお世話になります。

秋山 茂則君 ラベル忘れてニコボックス

水野 民也君 33年出席100%できました。作品を見せてもらいます。

成田 良治君 本日の卓話加藤翼氏を紹介いたします。

鈴木 理之君 同好会の皆さんの作品をごらん下さい。

竹内 真三君 今年度もよろしく。

舎人 経昭君 新しく入会させていただきました。皆様の御指導よろしくお願ひ致します。

津牧 孝臣君 小林さん、先日は大変お世話になり、ありがとうございました。

魚津 常義君 ホームクラブごぶさたしました。

鷺野 義明君 腹いたで早退します。

山本 眞輔君 三河一色で展覧会をします。

林 淳三君、堀江 宏輝君、釜谷 健一君、

松居 敬二君、三好 親君、中山 信夫君、

吉田 敬岳君 お暑うございます。

佐久間良治君 誕生日祝い。

菅原 宣彦君 夫人誕生日祝い。

田部井良和君 先週のニコBOXたくさんのご協力いただき、ありがとうございました。

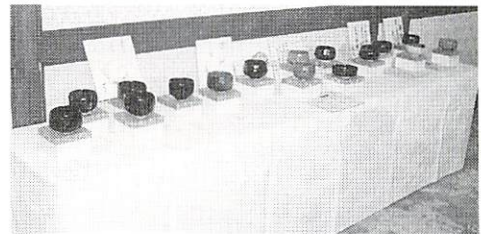
◇ 小山幹事報告

1. ロータリーの友7月号がきておりますのでお帰りにお持ち下さい。

2. 次回例会終了後、IM運営委員会を開催いたしますので担当の方はお残り下さい。

◇ 千年会(陶芸)幹事鈴木(理)君の報告

5/21道年宅で作った作品を展示してありますのでご覧頂き、ぜひ次回より多数のご参加をお待ちしております。



◇ バナー紹介

カスティグリオーネRC 菅原 宣彦君

◇ 水野(賀)会長挨拶

サムエル・ウルマンの“YOUTH”という詩は、非常に有名であり、愛好者が多いと聞いております。かつて、マッカーサー元帥が座右の銘としていたとも云われておりますし、昨年の地区大会の記念品にももらった日記帳“思い出の記”にもその一節がのっていました。

私も愛好者の一人であり、改めて紹介させていただきます。

◇◇◇◇青春とは◇◇◇◇

青春とは人生の或る期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ。優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ。

年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる。

歳月は皮フのしわを増すが、情熱を失う時に精神はしぼむ。

苦悶や孤疑や、不安、恐怖、失望、こう言うものこそ恰も長年月の如く人を老いさせ、精気ある魂をも芥に帰せしめてしまう。

年は70才であろうと、16才であろうと、その胸中に抱き得るものは何か。

曰く、「驚異への愛慕心”

空にひらめく星晨、その輝きにも似たる事物や思想に対する欽迎、事に処する剛毅な挑戦、小児の如く求めて止まめ探求心、人生への欣喜と興味。

人は信念と共に若く 疑惑と共に老ゆる。

人は自信と共に若く 恐怖と共に老ゆる。

希望ある限り若く 失望と共に老い朽ちる。

大地より、神より、人より、美と喜び、勇気と壮大、偉力との靈感を受ける限り人の若さは失われない。

これらの靈感が絶え、悲歎の白雪が人の心の奥までも覆いつくし、皮フの厚氷がこれを固くとどすに至ればこの時にこそ人は全く老いて神の憐れみを乞うる他はなくなる。

以上であります、これには異論があり、「青春」というのは、それ程美しいものではない。疑惑にさいなまれ、恐怖におののき、絶望のどん底をのたうち廻る。そこにこそ青春があるという意見もあるということです。

しかし、私は詩の中にあるように、信念と共に若く、自信と共に若く、希望ある限り若く、ロータリーも青春でありたいと願っております。

◇講演

“韓国に駐在して”

伊藤忠商事(株)前韓国駐在員

加藤 翼氏

(紹介 成田君)



韓国に駐在勤務したのは1986年5月から5年5か月ばかり、ソウル・オリンピック開催とその直前から始まった民主化のいわば激動の時代であった。莫大な対外債務も低金利が幸いし、また安い

輸入原油に支えられて、輸出が伸び、経済的に活況を呈していた時代であった。一方、民主化の流れに沿って従来軍事政権下で圧迫されていた組合活動が活発になってきた時期である。日系企業では、労使関係が緊迫すると、組合側は日帝36年の圧政に原因があるとして労使交渉が難航するのには閉口した。この頃、竹下総理が韓国を訪問され、両国は「近くて遠い国」といわれてきたが、「近くて近い国」にしなければいけない、と挨拶されたのはきわめて印象的であった。日本人と韓国人は顔つきも似ているし、言葉も文法が同じなのでとっつきやすい。両国とも同じ儒教の国でありながら、意外と考え方が違う。韓国では忠と孝では孝の方を重視し、血縁、地縁を大切にす。日本では仕事が忙しくて親の死に目

に会えなかったサラリーマンを会社に対する忠誠心が旺盛だと評価するが、韓国では逆に親不孝、薄情な人間だと評価が低い。また、韓国では条件の良いところがあれば簡単に転職し職場への定着度が低い。韓国人の対中国感情と対日感情も興味ある問題である。900回も侵略した歴史を持つ中国に対してそれほど悪感情をもたないのに対し、数回しか侵略していない日本に対しては意外と憎悪寒が強い。中国は侵略しても宗主国として君臨するだけで、ある程度の自治を認め、併合していないのに対し、日本に対しては、中国の先進文化が朝鮮半島を経由して日本に伝わったという、韓国が文化的優位にたっていた歴史事情のほか、秀吉の朝鮮征伐や1910年の日韓併合以後の創氏改名などの施策が対日悪感情の原因となっている。韓国で悪名高い日本人の名前としては、豊臣秀吉、加藤清正、伊藤博文のほか、戦後は村上という名前も加わった。TV番組に登場する日本の憲兵役の男の名前である。韓国南部地方では、夕刻子供が遊びに夢中になって帰宅しないとき「清正が出るぞ」と脅すという。

韓国では貴族的な存在である両班(やんばん)尊重の空気が残っていて、肉体労働、技術関係を軽視する風潮がある。自己の習得した技術を後輩に伝授したがる。職場での技術移転が進まない。上下一体になってはじめて成功するQC運動も残念ながら韓国では駄目である。

日本は島国であるせいか国際問題に対する緊張感が今一つ足りない。激動の時代であるだけに隣国の歴史にもっと関心をもって朝鮮半島の問題をよく研究し、新しい友好関係を構築する努力が必要である。

(文責 長門君)

~~~~~ テニス会 ~~~~~

7/10(日)(於: 東山公園テニスセンター)

シングルプレー

今西 4-0 田部井

今枝 4-1 田部井

今枝 4-2 今西

◇例会変更のお知らせ

名古屋栄RC 7/25(月)親睦例会の為、松楓閣にて18時半より

名古屋名東RC 7/26(火)夜間例会の為、名古屋国際ホテルピアガーデンにて18時より

名古屋名北RC 7/27(水)I.D.Mの為、鳳城にて17時半より

名古屋東南RC 7/28(木)夜間例会の為、名鉄グランドホテルにて18時より

◇次回例会(7月26日)

クラブフォーラム